

平成 24 年度第 1 回豊橋市立小・中学校通学区域審議会 会議録要旨

- 1 開催日時 平成 24 年 8 月 29 日（水）午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
- 2 開催場所 豊橋市役所東館 8 階 85 会議室
- 3 出席者 委員 堀田伸一、廣田勉、木所壮太、牧野修治、村川博美、柴田哲郎、福井基明、朝倉由美子、戸田文雄 ※敬称略
事務局 加藤正俊（教育長）、石黒拓夫（教育部長）、加藤喜康（教育政策課長）、宮崎正道（学校教育課長）、小田恵司（教育政策課長補佐）、柴田祥宏・宮本朋子（教育政策課指導主事）、山本誠二（教育政策課主査）、大橋史明

4 欠席委員 無し

5 議 事

進行：事務局教育政策課長

1 委員の紹介

朝倉由美子委員より順に自己紹介

2 役員を選任について

互選により会長に朝倉由美子委員、副会長に戸田文雄委員を選出

進行：朝倉会長

3 経過及び現状について

(1) 豊橋市立小・中学校通学区域審議会の主な経過について

(2) 学校別児童生徒数と学級数の推移（予測）について

(3) 特定地域隣接校選択制及び特認校制について

(4) 今後の進め方について

特定地域隣接校選択制の各校区のあり方について、昨年度から今年度にかけて行ってきた地元との協議の現状・経過を説明。地元との意見交換による確認事項は次のとおり。

・吉田方校区

吉田方校区としては、通学区域の線引きは受け入れられない。

豊橋市として良好な教育環境確保のため、吉田方小学校の増築は検討できない。

今後も現在の選択制を維持し、子ども会行事、成人式等に係る課題のルール作りを行いひとつずつ解決していき今年度中に方向性を固める予定。

・岩田校区

岩田校区としては、岩田小学校の過大規模が解消されている現状において、さまざまな課題を抱えてまで選択制を継続して良いのかという考えに立ち、地元との協議次第ではあるが、廃止も含めて検討をしたい。

諸問題の根が深くなる前に、できるだけ早期に住民との協議を行いたい。もちろん、

廃止するということを協議するのであれば、経過措置もあわせて協議する必要がある。

地元との協議と平行して通学審議会に諮問を行い、答申をいただく予定で検討している。

・幸校区

幸校区としては、通学区域の線引き、選択エリアの拡大は受け入れられない。

豊橋市として、今後児童数の減少が見込まれることから、小学校の分離新設、幸小学校の増築は考えていない。

効果があがってない選択制ではあるが、過大規模が解消していない現状においては継続するしかない。あわせてハード・ソフトの両面から、児童の教育環境の向上のための手立てをできることから講じる

(一括して事務局：教育政策課長より説明、質疑等は下記のとおり)

○主な意見、質問

<副委員長>

岩田校区は選択制の廃止も選択しにあるようですが、もし、廃止となった場合は、現在豊小学校に通っている児童も岩田小学校に戻すのですか。

<教育政策課長>

現在通っている児童はそのままです。また、兄弟が豊小学校に通っていれば豊小学校への入学を認めるなどの経過措置を行うことが、当然必要になると思います。

<副委員長>

児童、生徒数の推移表をみますよ、岩田小学校は、今後児童数が増えていく傾向にありますが、廃止を検討しても大丈夫でしょうか。

また、幸も 900 人代まで減少していくにも関わらず制度を継続するが、制度の廃止を検討する岩田小学校との考え方の違いはなにでしょうか。

<教育政策課長>

教育委員会としては、1,000 人をひとつのラインとしています。

開発の予測と少子傾向から、岩田小学校は 900 人までは増えていかないと考えており、幸は 900 人まで減少していきだろうと考えている状況です。

<委員長>

岩田校区は、26 年度くらいまで 700 人台で推移し、課題が多くて困っていることも考えれば、廃止したいという意向を持つ方も多いかもかもしれませんね。

<委員>

吉田方ですが、地域としては特定地域隣接校選択制を本当は使用したくないですが、制度を導入しないと1200人を超えるようになるため、学習環境を考えると地元としても仕方がないと考えている。選択制をやることによって松葉小学校も花田小学校も教育環境は良くなっていると聞いています。

ただ、子ども会行事、成人式、お祭りなどには地域コミュニティの形成が必要であるが、希薄になってきているのが課題です。吉田方校区は、もともと工業地帯だったところが、宅地開発され外部からたくさんのお家庭が移り住んできており、地域との関係が形成されないままに選択制を利用して学校へ通う状況になっている。

課題として地域のつながりが希薄だと災害時など困る。選択制の説明会のときに、選択をして隣の学校へ行ったとしても地域コミュニティの活動には積極的に参加してくださいということを豊橋市教育委員会からももっとしっかり言ってください。

<委員>

私は松葉ですが、子ども会行事で課題が大きいと聞いています。

<副会長>

この審議会の目的は、そこまで細かいところまで調整することが目的ではないですよ。通う学校を子どものためにどう準備していくかが、第1義であって、各地域のつながりに関しては、2義的なことなのでここで大きく議論はできません。

もちろん、この問題も、地域が子どもを育てるという事から大切な問題ではあります。

<会長>

制度導入から、5・6年が経過し、見えていた結末と見ていない結果があると思います。小学校の6年間だけで考えるのではなくて、一生居住していく地域におけるつながりという視点も大切にしながら進めていく必要があります。